

低コストで優秀な人材に、進出可能性のカギあり！

(アジアビジネス展開研究&視察活動Ⅳ)

ベトナム中部(ダナン・フエ)視察レポート

製造業編

当所では、アジアへのビジネス展開に関心がある事業所や海外展開に取り組む事業所向けに、アジア各国の生のビジネス環境や生活状況に関する見聞を広める為、現地視察ツアーを実施している。今回は、自動車や繊維関係の注目を集めるベトナム中部(ダナン、フエ)地域の視察を行ったので、その様子と経済環境についてレポートを行う。

【日 程】

11月29日(火)～12月3日(土)

【行 先】

ベトナム中部(ダナン、フエ)

【参 加 者】

福井県内の繊維、金属部品製造企業の経営者等15名

【視察内容】

- ①ダナン人民委員会
フエ人民委員会訪問
- ②日系進出企業視察と交流会
(製造業7社)
- ③商業環境視察(3ヶ所)

コーディネーターとして、(独法)日本貿易振興機構(ジェトロ)の池部亮アジア大洋州課長(前福井県立大学地域経済研究所准教授)、小林恵介アジア大洋州課長代理が同行し、道中ベトナムの経済状況、歴史や文化、訪問先について説明を受けながら視察を行った。

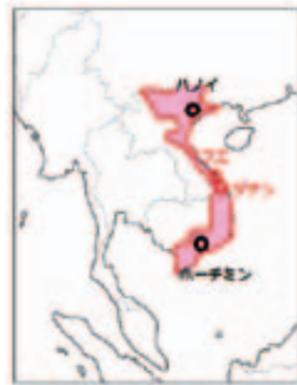
なぜベトナム中部なのか？

今回、視察地として選んだのは、ベトナム中部にあるダナン、フエである。ダナンは、ベトナム

ム第三の都市で、人口100万人を超える。近年リゾート開発が進み、国内外から観光客が増加しているエリアだ。また、フエはダナンから北に車で2時間半程の距離に位置し、世界遺産に認定されている遺跡が数多く残っている。

ベトナム中部(ダナン・フエ)のビジネス環境としての特徴は、二大都市ハノイ、ホーチミンに比べて人件費が安く、また輸送面ではラオス、タイ、ミャンマーと陸路(東西経済回廊)でつながっている点にある。

さらに、ダナン市においては、ジャパンドeskを設け、積極的に日本企業誘致に取り組んでいることから、進出の可能性を探った。



ベトナム近隣諸国 地図

主な視察先

- ①ダナン人民委員会、フエ人民委員会訪問

社会主義国のベトナムにおいて、日本でいうと市役所にあたる人民委員会を訪問した。

ダナン人民委員会では、ダナン投資促進センターのレ・カイン・ズオン所長に、ダナン市の概要について伺った。ダナンへの投資件数は日本が一番多く、製造業を中心に日系企業109社が進出している。一方で、金額ベースになると韓国、シンガポールが多く、観光、不動産投資の割合が半分を占めている。2014年からは、日系のサービス業進出も増えている。

また、フエ人民委員会では、グエン・バン・フォン副知事と面談し、「今日の会合をきっかけに、フエ省と福井県の関係が続いていくことを願っている。現在進出している日系企業は少ないが、今後製造、観光業を中心に誘致していきたい。」と前向きな発言があった。



ダナン人民委員会での様子

②日系進出企業視察と交流会

ダナンにて5社、フエにて2社、計7社の日系企業視察を行った。業種としては、繊維、物流、金属、レンタル工場、日本酒製造である。各社にて、働いているベトナム人の様子、商品の物流面、今後の課題等、現地進出状況を伺った。その後、工場を見学した。また、日本人駐在員との交流会を行い、駐在環境や苦勞話等について聞いた。

ヒアリングした内容を基に、日本企業のベトナム中部進出にあたってのメリットとデメリットを下記にまとめる。

デメリット	メリット
<ul style="list-style-type: none"> ・中部での資材調達が難しい ・東西経済回廊の未整備 ・経営幹部の採用が難しい ・日常的な賄賂習慣 ・環境規制があり業種によって進出が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地代が安い (1ha 約500円/月) ・ワーカー人材が豊富 (真面目で勤勉な性格) ・ワーカー賃金が安い (1人約1万8千円/月) ・従業員定着率が高い ・規模の大きな港がある



縫製企業(フエ)視察の様子

③商業環境視察

タイとベトナムに展開するスーパーマーケットBigC、現地市場、フェヴァアチョコレートを訪れた。総じて物価は安く、特に食料品は日本の3分の1程度である。フェヴァアチョコレートはフランス人とベトナム人が共同で経営し、ほぼベトナム産の材料を使っているチョコレート店である。お洒落な店構え、包装を行っており、現地住民には高めの価格帯であることから観光客を主なターゲットとしていることが伺えた。



スーパーマーケットBigC視察の様子

視察を終えて

中部の特徴であるワーカー賃金の安さについては、現在最低

賃金の改正により毎年1割ずつ上昇しているので注意が必要だ。進出を検討する場合は、人件費の安さは初期メリットと考え、従業員一人一人を丁寧に教育し、生産性を高めていくことに注力することが重要なポイントである。

また、業種によっては資材や納品先はベトナム中部には少ない為、部品メーカーよりも完成品メーカーや、資材を必要としないIT企業が適していると言える。資材を調達する方法の一つに、近隣諸国からの輸入があるが、注目される東西経済回廊はラオスの道が整備されており、通関に時間がかかる等現状では活用が難しい。

日本にいて得られる情報というのは一握りである。実際に現地を訪問して、投資環境を見る、体験することで本当の姿を理解することができる。

企業の海外展開をサポートします！お気軽にご相談下さい。
福井商工会議所 地域事業課
TEL 0776(33)8253